

# ファームバリア マイティプライマー

## 特徴

### 1 1つの現場でプライマーの使い分けが不要です。

一般鉄部をはじめ、ガルバリウム鋼板などの非鉄金属のほか、コンクリートや住宅屋根スレートなど様々な下地へ適応します。JASS 18 M-109 適合品です。

### 2 塗り替え適性に優れます。

弱溶剤のため、既存塗膜を溶かしにくく、塗り替え用プライマーとして最適です。

### 3 作業性が抜群です。

刷毛、ローラーの作業性に優れ、速乾性で作業効率が良く、温度条件によっては、その日のうちに上塗りの塗装が可能です。

### 4 良好な防錆効果を発揮します。

特殊エポキシ樹脂を使用しており、他社構造物錆止めペイント (JIS K5551 A 種相当) と同等レベルの防錆力を示します。

### 5 遮熱タイプをラインアップしています。

エポラオールプライマーの性能に、遮熱機能をプラス! 遮熱タイプの上塗りとの組み合わせをお勧めします。

### 6 環境対応型塗料です。

鉛系やクロム系の顔料を含んでいない、地球環境に配慮した塗料です。しかも弱溶剤タイプため低臭で、安全な塗装環境で安心して作業ができます。

## 試験成績

※試験成績に記載の試験結果は、参考値であり、規格値ではありません。

試験項目	試験方法	規格	試験結果
付着性	JIS K 5600 間隔: 2 mm、マス目数: 25	25/25	剥離なし
耐水性	JIS K 5600 浸漬時間 7 日	塗膜の外観に異常のないこと	異常なし
耐温水性	60℃温水浸漬 浸漬時間 7 日	塗膜の外観に異常のないこと	異常なし
耐塩水噴霧性	JIS K 5600 浸漬時間 480 時間	塩水噴霧に耐えること	異常なし
耐複合サイクル防食性	塩水噴霧 0.5 時間→湿潤 (30℃) 1.5 時間→熱風乾燥 (50℃) × 2 時間→温風乾燥 (30℃) 2 時間を 1 サイクルとして 36 サイクル	複合サイクルの試験に耐えること	異常なし
日射反射率	JIS K 5602 に準拠。(遮熱ホワイト)	近赤外波長域の反射率を明記	65~75%

## 標準色

- グレー
- 遮熱ホワイト

## 荷姿

- 16kg セット
  - A 液…… 14kg
  - B 液…… 2kg

## 塗装基準

### ① 素地調整

- フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜はケレン工具を用いて除去してください。
- サビは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。

### ② シンナー

- 無希釈でご使用ください。\*3

### ③ ポットライフ (可使用時間)

- 塗料の可使時間は 6 時間 (23℃) です。

### ④ 塗装方法

塗装方法	刷毛・ローラー・スプレー
希釈率	0% *3
塗布量	0.13 ~ 0.16kg / m <sup>2</sup>
膜厚 (ドライ)	30 ~ 40 μm

※1: 吸い込みが著しい下地の場合最大で 0.50kg / m<sup>2</sup> を目安としてください。  
 ※2: 吸い込みが激しい下地の場合、上塗り 1 回目で置換泡が発生することがあります。その場合は、上塗り 1 回目が乾燥する前にローラー等で泡消し作業を行なってください。

※3: 塗料粘度が上昇する冬季や、乾燥が著しく早い猛暑時で塗りにくい場合は、塗料用シンナー A を、5% 以内を目安にご使用ください。

### ⑤ 乾燥条件

乾燥条件	5℃	23℃	30℃
指触乾燥	3 時間	1 時間	30 分
上塗り塗装間隔	6 時間以上 72 時間以内	3 時間以上 72 時間以内	2 時間以上 24 時間以内

※最短の塗装間隔は、その日の環境条件により異なることがあります。

# 主な適用素地

△=あらかじめ試験施工を行ない、付着性の確認を行なってください。

素地	適応性
鉄	○
トタン	○
化成処理亜鉛鋼板	○
ブリキ板	○
溶融亜鉛メッキ鋼板	○
クロメート処理鋼板	○
リン酸塩処理鋼板	○
電気亜鉛メッキ	○
ボンテライト	○
ステンレス	○

素地	適応性
銅板	○
ガルバリウム鋼板	○
アルミニウム	○
アルマイト処理板	△
アルマイトシルバー、ブロンズ	×
FRP	△
硬質塩ビ	○
軟質塩ビ	×
塩ビゾル鋼板	×
波型スレート	○

素地	適応性
薄型化粧スレート	○
厚型スレート瓦	○
セメント瓦	○
粘土瓦	×
GRC板	△
押出成形セメント板 (ECP)	○
コンクリート、モルタル	○
木部	△

# 主な適用既存塗膜

△=あらかじめ試験施工を行ない、付着性の確認を行なってください。

既存塗膜	付着性
合成樹脂調合ペイント (OP)	△
フタル酸樹脂エナメル (EF)	○
エポキシ樹脂塗料	○※1
ポリウレタン樹脂塗料	○※1
塩化ゴム系樹脂塗料	△
アクリル樹脂塗料	○
ラッカー塗料	○
アルミニウムペイント	×
フッ素樹脂塗料	△
シリコンアクリル塗料	○

既存塗膜	付着性
シリコンアルキド樹脂塗料	○
エマルジョンペイント	○
水性ポリウレタン樹脂塗料	○
水性アクリルシリコン樹脂塗料	○
水性フッ素樹脂塗料	△
瀝青系シルバー塗料	×
シリコンポリエステル	△
オイルフリーポリエステル	△
メラミンアルキド	○
アクリルメラミン	○

● 予め試験施工を行ない、付着性の確認を行なってください。

※1: 強溶剤塗料で全く溶解しない場合は、予め試験施工を行ない、付着性の確認を行なってください。

# 主な適用上塗塗料

- ファームバリア
- ファームバリア Tio

その他、外装材、塗り床材、防水材の下塗りにもご利用いただけます。

※上塗りは弱溶剤系に限ります。

## 取り扱い上の注意事項 (よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は ABC 粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は、直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 塗料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器は、つり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください (偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをして、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中味を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は環境に配慮した材料を用いていますが、ご使用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 詳細は警告ラベル、または安全データシート (SDS) をご参照ください。

\* 製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。



地域未来牽引企業

株式会社 宮防

お問合せ先



0120-077-876

[URL] <http://miyabo.co.jp> / [Email] [miyazaki@miyabo.co.jp](mailto:miyazaki@miyabo.co.jp)

本社: 宮崎市大字田吉 1886 番地

電話 0985-53-1008

FAX 0985-53-1044

◆ 代理店